降下訓練における場外（羽村市）降着について（要請）

令和７年 11 月 18 日及び 19 日、防衛省北関東防衛局から「11 月 18 日夕方、米陸軍兵士が横田基地所属のＣ－１３０輸送機による降下訓練において、区域外（羽村市）に着地した。当該兵士は、主降下傘が作動しなかったため、緊急手順に従い予備降下傘を展開したもの。作動しなかった主降下傘については、ジャンパーとともに降りたとのこと。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

降下訓練における場外降着等は、一歩間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、基地周辺住民に多大な不安を与えるものである。

また、当協議会は、人員降下訓練に当たっては、訓練情報の早期提供を徹底するとともに、訓練規模の大小にかかわらず詳細な訓練情報を提供することなどを再三にわたり求めてきたが、今回も事前の情報提供がない中で人員降下訓練が実施された。さらに、人口密集地で行う訓練の危険性を十分考慮の上、これまでに発生したパラシュートやフィンの基地外への落下事故と同様の事故を防止すること等を要請してきたにもかかわらず、こうした事態が発生したことは、遺憾である。

貴職においては、このような状況を十分認識され、原因究明を行い、再発防止と安全確保に努めるよう、下記のとおり要請する。（※）

記

１　今回の場外降着の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
２　訓練を再開する場合は、事前の情報提供及び安全確保について、更なる徹底を図ること。
３　横田基地所属以外の部隊による同様の訓練は行わないこと。
４　以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

※国に対しては、「貴職においては、このような状況を十分認識され、下記のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。」と記載

令和７年 11 月 21 日

在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官
リチャード　Ｆ．　マックエルハニー大佐　殿
北関東防衛局長　池田　眞人　殿
横田防衛事務所長　佐々木　輝男　殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会　長　東京都知事　小池　百合子
副会長　昭島市長　臼井　伸介
立川市長　酒井　大史

福生市長　加藤　育男
武蔵村山市長　山﨑　泰大
羽村市長　橋本　弘山
瑞穂町長　山﨑　栄